

令和3年度

子供見守り活動 事例集



東京都

はじめに

「子供見守り活動」

あなたもはじめてみませんか？

「子供見守り活動」とは、犯罪や交通事故の被害から、社会の宝である子供たちを守るための見守り活動のことです。

現在、都内各地で町会や自治会、学校・PTA、有志の防犯ボランティアなどの方々が様々な活動を行っています。

多くの方たちが日常生活を通じて子供たちの安全を見守ることにより、事件事故を未然に防ぎ、子供たちの笑顔と健やかな成長を支えます。

本事例集では、すでに見守り活動に取り組んでおられる方はもちろん、子供達や地域のために何かを始めたいとお考えの方への一助となるよう、都内各地で子供たちの安全を見守っておられる方たちの様々な活動とその思いを紹介しています。

子供見守り活動は、地道な取組ですが、
子供たちの安全にととても役立っています。
できるときにできることを、無理なく取り組みましょう！！



安全安心まちづくりを推進する
マスコットキャラクター
「みまもりいぬ」



「子供見守り活動」

あなたもはじめてみませんか？ 2

世田谷区

中町4丁目・5丁目町会緑のレンジャー 4

「安全で・安心して・楽しく学べる」学校であるために、
雨の日も風の日も、子供たちを確実に送り届ける

武蔵野市

青色防犯パトロール隊ホワイトイーグル 5

日課のパトロールからセーフティ教室まで
制服姿のヒーローが、今日も市内を駆け巡る

調布市

ふじみパトロール隊 6

「次の世代につなげて、新たな街づくりを」を
モットーに、学区に根差した積極的な活動を展開

小金井市

二小わんわんパトロール 7

児童の安全を見守る活動を通じて、
人と動物が共に暮らす豊かな地域作りを目指す

西東京市

西東京市立栄小学校 8

校内、通学路、商店街、
地域安全連絡会のマスコットさかえちゃんが児童を見守る東京都の
事業紹介

～あなたの日常に＋見守り活動を～みんな de 防犯 始めよう!! 9

大東京防犯ネットワーク 10

「おしえて、みまもりいぬ！」～あんぜんのために きをつけること～ 11

読者の皆様へ
アンケートのお願い本事例集をお読みになったご感想をぜひ聞かせてください。
掲載団体への応援メッセージもお待ちしております！アンケートの回答フォーム (web) は、東京都が運営するポータルサイト
「大東京防犯ネットワーク」内の「子供見守り活動事例集 (令和3年度)」の
掲載ページに設置しています。

大東京防犯ネットワーク 子供見守り活動事例集

検索



中町4丁目・5丁目町会 緑のレンジャー

緑のレンジャーは、平成15年8月に結成されました。緑の帽子とジャンパーに身を包んだ約40人のメンバーは、中町小学校に通う児童が安全に安心して登下校できるよう、日々見守り活動をしています。特徴的な活動は新BOP*からの帰宅時の付き添いで、参加児童をそれぞれの自宅まで送り届けるといふ、他ではあまり見られない見守り活動を行っています。

*新BOPとは、BOP(ポップ=Base Of Playing 遊びの基地)の提供と学童クラブ運営を統合した世田谷区の子育て支援事業です。



※撮影時のみマスクを外しています。

「安全で・安心して・楽しく学べる」学校であるために、 雨の日も風の日も、子供たちを確実に送り届ける。

中町小学校周辺は交通量が多いため、登校時における児童の交通事故を心配した町会から当時の校長先生に提案する形で見守り活動が始まりました。それ以来、「緑のレンジャー」というチーム名も決まり、見守り活動はさらに力が入るようになっていきました。

主な活動は、

- ・登校する児童の見守り（毎日）
 - ・新BOPからの帰宅時の付き添い（毎日）
 - ・町内巡回パトロール（毎週土曜日）
 - ・中町小学校の行事への参加（随時）
- などで、雨の日も風の日も、学校がある日は毎日見守り活動を続けています。



登校時の見守りは、危険な箇所を抽出してメンバーを配置しています。



一番安心できる方法で

世田谷区の新BOPは小学校1年生から3年生の児童が、放課後から18時15分までの間利用することができます。18時頃に児童を一人で帰宅させるのは不安だとの思いから、緑のレンジャーの活動開始当初から現在まで、同じ方向に帰る児童ごとにグループ分けし、一人一人の自宅まで送り届けるといふ活動を続けています。全国的に見ても珍しいこのスタイルについて牽引役の菅原道次さんにこの活動を続ける理由をうかがうと「子供たちが心配だからという思いに尽きます。保護者の方にも理解や協力をしていただき、ずっと続けて行きたいですね」と話しました。



送り届けた児童が玄関に入り、しっかり鍵をかけるまで見届けます。

子供たちとの交流が活動の原動力

中町小学校では3年生になると、いくつかの班に分かれて通学路やあそび場を回り、児童たちの目線で危険な場所を探して「地域安全マップ」を作る授業があります。この活動に緑のレンジャーの隊員も同行し、児童との絆を深めています。卒業を迎える6年生からは、自作の「お散歩マップ」や感謝のお手紙がプレゼントされるなど、緑のレンジャーと児童たちとの間には温かい交流が続き、活動の力になっています。

お散歩マップやお手紙には緑のレンジャーへの感謝の想いが詰まっています。



町会という基盤があつてこそ

緑のレンジャーは中町4丁目・5丁目町会の活動の一つです。町会の歴史は古く、昭和22年には存在していたといいます。町会は玉川警察署や世田谷区のまちづくりセンターと連携し、地域の防犯や交通安全対策を進めています。また、毎週土曜日の夜には、緑のレンジャー、児童、その保護者が一緒になって町内を見回る町内巡回パトロールを実施。子供たちも参加することで和気あいあいとした雰囲気の中でパトロールをしています。町会長の白井進さんは「地域の防犯に関する意識が高まると、学校や保護者の意識も高まって、町全体の安全安心につながると思います」と、地域をあげた活動の重要性を語ってくれました。※町内巡回パトロールはコロナ禍の影響で現在(取材時)は休止中です。

緑のレンジャーの 活動を支える 町会役員の皆さん



町会長の白井進さん



菊田正男さん



菅原道次さん

送り届ける道中の子供たちとの会話がとても楽しいです。

緑のジャンパーを着ていない時も挨拶してくれるのが嬉しいですね。

青色防犯パトロール隊 ホワイトイーグル

ホワイトイーグルは、武蔵野市から委託を受けた民間警備会社によるパトロール隊で、平成14年に発足しました。専任の6名の隊員が青色回転灯を装備したパトロールカー3台を駆使して、日々、武蔵野市内の安全・安心を見守っています。通学路の警戒や、子供関連施設などへの立ち寄り警戒、情報共有、防犯指導に加え、不審者事案や特殊詐欺事案の発生時、災害などの緊急時には、特別警戒・広報活動なども実施しています。



日課のパトロールからセーフティ教室まで。 制服姿のヒーローが、今日も市内を駆け巡る。

立ち寄る施設での交流や労いの言葉ひとつひとつが、やりがいにつながります。



ホワイトイーグルは日曜・祝日を除く月曜から土曜まで、3台のパトロールカーに2名ずつ隊員が乗車し、東地区、中央地区、西地区の3つのエリアの小学校や保育園などの子供関連施設約140か所の立ち寄り警戒と、公園や福祉施設など約120か所の周辺警戒を行っています。パトロールカーと制服姿での活動やセーフティ教室などでの子供たちとのふれあいは、防犯効果の向上に加え、子供たちに大きな安心と信頼を届けています。

ホワイトイーグルの1日



午前7時 パトロール出発

小学校の登校時間に合わせて通学路周辺のパトロールを行います。



午前9時すぎから 巡回パトロール

安全点検確認簿を持って、警戒対象施設へ立ち寄り警戒を行います。緊急事態が起これば臨機応変に対応し、犯罪や被害の未然防止に努めます。



午後7時 パトロール終了

立ち寄りや周辺警戒が終わったパトロールカーは、市役所へと戻り明日のパトロールに備えます。



午前9時 朝礼

隊員全員と武蔵野市安全対策課の職員による朝礼で、報告事項や業務の確認を行います。



防犯を伝えるのは子供たちの目線で

子供たちに防犯意識を持ってもらうため、子供関連施設でのセーフティ教室や防犯講話を行っています。ギターの弾き語りで防犯や交通安全、命の大切さを伝えたり、コントで実際にあった連れ去り未遂事件をわかりやすく伝えたりなど、子供たちに大人気の活動です。行政から委託された民間警備会社がこうした活動を行うことは都内でもあまり例がなく、市内の小学校や学童クラブから多くの要請があるそうです。



隊員の山元さん(右)のギターと、泉さん(左)扮する「いそのなみへいさぶろう」のコントで防犯や交通安全について楽しく学ぶことができる教室を実施。

防犯の プロとして



近田浩典リーダー

発足当時から活動続ける近田浩典リーダーは、「市民の安全・安心を守ることは防犯のプロである我々の使命です。これからも子供たちや地域を守るという強い気持ちを持って取り組んでいきます。今日も明日も、日常が日常のまま過ぎること、そんな平穏な日々の中で子供たちの成長を見守るのが一番ですね」と充実した表情で語ってくれました。

防犯の基本は「ひとりにするな ひとりにするな」これに尽きます。地域と協力して伝え続けていきたいですね。

ホワイトイーグルの心強い仲間たち

武蔵野市では子供たちや市民があらゆる時間帯で安心して生活できるよう、主に吉祥寺のまちをパトロールする「ブルーキャップ」、深夜帯のまちを見回る「吉祥寺ミッドナイトパトロール隊」も活動しています。また市民ボランティアによる「武蔵野市市民安全パトロール隊」は、地域愛あふれる64名の隊員が、子供たちの登下校や地域の様子を見守っています。定期的な合同パトロールの実施に加え、各パトロール隊と市、警察が月に1度集まり、報告や情報交換を行うなど、緊密に連携をとりながら活動しています。



武蔵野市市民安全パトロール隊の皆さんは、登下校や学童保育からの帰宅時間帯の見守り活動をされています。

ふじみパトロール隊は平成10年4月に発起人である三浦信一さんの「地域や子供たちの安全を守りたい」という思いから発足した、地域有志によるボランティア団体です。
調布市立石原小学校の児童の登下校や校外学習など、20年を越えて子供や街の安全を見守り続けています。



※撮影時のみマスクを外しています。

**「次の世代につなげて、新たな街づくりを」を
モットーに、学区に根差した積極的な活動を展開。**



ふじみパトロール隊が活動している石原小学校の江原幸一校長先生は「地域のことをよくご存じの地元の皆さんに見守っていただけるのは本当に安心で心強いです」と感謝と信頼を寄せています。長年、町域を超え、家庭や世帯のつながりが強い小学校の学区単位での地道な活動で、児童の安全を見守った結果、交通事故や犯罪の少ない地域になっています。

わんわんパトロールも大活躍！

ふじみパトロール隊では、わんわんパトロールによる見守り活動も行っています。調布市へ登録することで、ボランティア保険加入の補助や活動をサポートするグッズが貸与されています。ふじみパトロール隊では約40人の皆さんが登録し、愛犬との散歩時間に見守り活動や地域の美化活動を行っています。



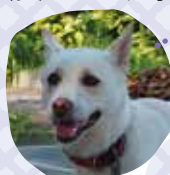
富士見ボランティアコーナーに展示してあるわんわんパトロールグッズ。調布市社会福祉協議会がPRや隊員募集に協力しています。

取材日は、3匹のワンちゃんと
お会いすることが
できました。

しぐさも表情も
愛嬌いっぱい
「ころまるくん」



ちょっとシャイなお嬢様「リリーちゃん」



優しい表情で癒してくれる「ゴローくん」

合同防犯パトロールでは街の美化も行います

ふじみパトロール隊は、石原小学校地区協議会が主催する合同防犯パトロールに中心的な役割で参加しています。参加団体は、石原小学校の職員やPTA、富士見児童館、おやじの会、調布中学校、健全育成推進石原地区委員会、民生児童委員などで、参加者は4班に分かれ、ゴミ拾いをしながら街の美化を兼ねた防犯パトロールを行います。令和3年7月6日に行われたパトロールでは、調布市の職員の方も含め、総勢約40人の皆さんが参加されました。



自家用車を青色防犯パトロールカーに

平成28年からは、青色防犯パトロールカーによるパトロールも行っています。使用している車両は隊員の大石節夫さんの自家用車で、下校時間に合わせた週2回のパトロールは、コースや時間を決めずに、実施日の天候や、交通状況などから、通学路、児童館、公園などの子供に関連する場所を巡回し防犯効果を高めています。「少しでも抑止効果になっていれば嬉しいことです」と、大石さんは笑顔でパトロールに出発していきましました。

調布市から貸与された青色回転灯とステッカーを装着し、大石節夫さんの自家用車が「青パト」に大変身！



長年の活動に労いと感謝を

長年にわたり地域のために活動されてきた功績が認められ、令和3年5月25日、警視庁生活安全部長と公益財団法人東京防犯協会連合会会長連名の感謝状が三浦さんへ贈られました。三浦さんに長年活動が続けられる理由をうかがうと、「地域に子供がいなくて寂しいし、見守り活動することが生活の一部になっているから」で、「子供がかわいからとか、心配だからとか、行動の発想はシンプルなものなんです」と少し照れくさそうにお話してくれました。



感謝状贈呈の写真は富士見ボランティアコーナーに掲示されていて、多くの方が目にされています。



三浦信一さん

見守り活動に行くと、「いってらっしゃい」と言って送り出してくれる家族の理解もありがたいですね。

二小わんわんパトロール

小金井第二小学校わんわんパトロールは、平成19年4月に発足しました。この頃、日本の各地で児童が被害に遭う事件や事故が多数報じられており、小金井第二小学校でも事故や犯罪から児童を守るための活動として、全国で立ち上がり始めていた「わんわんパトロール」を取り入れました。



児童の安全を見守る活動を通じて、人と動物が共に暮らす豊かな地域作りを目指す。

小金井第二小学校わんわんパトロールは、令和3年度現在、29世帯51名、犬32頭が登録し見守り活動をしています。参加している飼い主の方は、地域の子供を地域で見守るという思いから、自治会会員を含め小金井第二小学校の学区周辺のアダマ家の皆さんが協力しています。参加者の登録窓口や個人情報の管理は、同小学校のPTAが責任を持って行っています。



緑豊かな地域の安全を犬と共に見守る

小金井第二小学校の周辺は緑豊かで、大きな公園も多数ある環境に恵まれた地域です。しかし、幹線道路の抜け道で交通量が多いにもかかわらず、歩道のない道路があり、防犯カメラの設置も少ないことから、大きな事故や事件が発生しないよう犬と見守っています。

そんな地域を見守るわんわんパトロールの主な活動は、

- ・児童と一緒に通学路を歩く
- ・登校時に校門（正門、西門）で見守り、犬とのふれあい
- ・登校時間後の散歩中の見回り
- ・参加者それぞれが散歩の時間帯で見守り

などで、日々犬と一緒に児童たちとふれあい、温かく見守っています。



毎朝、校門の前では多くの児童がチャイムが鳴るまで犬たちとふれあっています。

「動物ふれあい教室」で情操教育にも貢献

小金井第二小学校わんわんパトロールで活動している犬たちは、毎日の見守り活動だけではなく、児童たちとの「ふれあい犬」としても一役買っています。小金井第二小学校では平成20年より毎年6月、新1年生の授業に犬を通じて命の大切さや共生の心を学ぶ「動物ふれあい教室」を取り入れ、わんわんパトロールに参加している皆さんやパトロール犬も協力しています。小金井第二小学校のわんわんパトロール犬は、教育支援犬やセラピー犬という要素を併せ持ち、児童と深くかかわっています。

※「動物ふれあい教室」はコロナ禍の影響で休止となっています。



毎日見守ってくれている地域の犬に触れ、正しい犬との接し方や共生の心を学びます。

初代の志を引き継いだ、二代目・夢ちゃん

活動を牽引する尾崎庸子さんは、発足前の平成17年末から個人的に見守り活動をしていました。そこから約11年にわたり尾崎さんと共に児童を見守り続けてきた愛犬、ビーグル犬雌・チキータちゃんが平成29年に16才で亡くなりました。その時は校長先生、児童、保護者の方々から多くのお悔やみや感謝の手紙、労いの言葉が寄せられたそうです。今、尾崎さんと共に活動しているのは、チキータと同じビーグル犬雌の夢ちゃん4才。初代の志を引き継ぎ、元気に活動しています。

夢ちゃんは、今やすっかり二小の看板犬！がんばれ二代目！



土曜授業の日はスクールゾーンが適用されないからこそ、大勢の方が見守り活動や校門での児童のお迎えに参加しています。このような長年にわたる小金井第二小学校わんわんパトロールの皆さんによる温かい見守り活動に対して、令和2年10月、東京都都民安全推進本部から感謝状が贈られました。



学校に飾られている感謝状写真。参加している犬たちはみんなちょっぴり誇らしそうです。



尾崎庸子さん

毎日あまり変わらないルーティンですが、この活動が子供たちの心の片隅に残る、当たり前風景でありたいと思っています。

保護者・教職員・地域

西東京市立栄小学校の児童の見守り活動は、PTAや地域の方々からなる栄小学校地域安全連絡会とPTAから選任された正地区委員が中心となり活動しています。



創立50周年記念作品

校内、通学路、商店街、
地域安全連絡会のマスコットさかえちゃんが児童を見守る。

平成18年3月30日の発足以来、15年にわたる地域安全連絡会の活動の積み重ねは、歴代のPTA役員と保護者の協力により継続されています。児童や保護者、地域の皆さんが親しみやすく受け入れやすいように、独自に作ったグッズを見守り活動に取り入れ、地域ぐるみで活動を行っています。

🌸 ワッペン

発足当初、見守り活動の旗印としてマスコットの「さかえちゃん」が誕生しました。最初のグッズとして「見守ってくれる人」が一目でわかるワッペンが登録制で配付されました。

🌸 キーホルダー

令和3年から新登場。時代に合わせて登録制を廃止。保護者やPTAの方が気軽に身につけられるキーホルダータイプです。

🌸 地域ポスター

令和3年度は5年生が制作しています。近隣の商店や施設など、見守り活動に協力してくれる皆さんが目を引くところに掲載してくれています。

🌸 さかえちゃんコレクション 🌸

犯罪抑止や防犯意識の向上、交通安全にも一役買う、長年の活動から生まれたさかえちゃんグッズの“ほんの一部”をご紹介します！

🌸 さかえちゃんぬいぐるみ

低学年の児童にとってさかえちゃんがより身近な存在になるように、1年生と2年生の各教室や、校長室、職員室、保健室に置かれています。

🌸 さかえちゃんスティック

通学路や公園の植込みや柵に取り付けられた木製のさかえちゃんです。木工が得意な地域の方が作ってくれています。大きいものから小さいもの、表情があるものやリボンをつけた「レアもの」など、いろいろなさかえちゃんが児童を見守っています。さかえちゃんがたくさんある路地は、児童から「さかえちゃん通り」と呼ばれています。

🌸 自転車シール

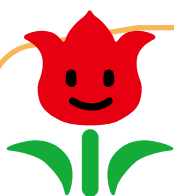
3年生になると自転車のルールやマナーを学習する自転車安全教室が行われ、このシールが配付されます。保護者用の大きいシールもあります。

🌸 手作りマスコット

4年生になると、老人ホーム「保谷苑」の皆さんと交流をもつ学習があります。そのお礼に、保谷苑の皆さんが1つ1つ手作りしたさかえちゃんマスコットを贈ってくれます。

🌸 さかえちゃんハンカチ

栄小学校の児童だと一目で分かる、ランドセルに付ける保護者手作りの小さなハンカチです。遠くからでも目立つ明るいオレンジ色は、交通安全にも役立ちます。



名前の由来は、「栄小学校」の「さかえ」、「地域」の「ち」、「安全」の「あん」から取って「さかえちあん」・・・さかえちゃん！ マスコットの愛称だけではなく、栄小学校地域安全連絡会の通称でもあり、栄小学校の安全を見守る活動を表すシンボルなのです。

栄小学校地域安全連絡会の活動は、こちらをご覧くださいませ。

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-sakae/soshiki/sakaechan/index.html>



さかえちゃんに寄せられた声

協力的な地域であることが分かる！ 仲間のいる安心感がある！

説明するより分かりやすい！

地域で見かけて見守られている感じがする！ 他校の保護者からうらやましがられた！

正地区委員・PTA 役員の皆さんからひとこと

低学年の子供が興味を持ってくれて意識が大きい！ 幼稚園でも大人気！

活動に参加してみて、初めて分かったことがたくさんありました。地域安全連絡会、校長先生、副校長先生、地域の方々にとっても協力してもらい、地域ぐるみで子供たちを見守ってくれているのを日々感じています。

保護者全員がパトロール！



パトロールに携帯するバッグに過去の腕章を貼って使用しています！

学区を3つに分けた地域には、PTAから選任された正地区委員がいて、それぞれの地区のパトロールの計画や管理を行っています。取材日は合同パトロールだったため、正地区委員・PTA役員をはじめ、校長先生、駐在所のお巡りさん、西東京市危機管理課の皆さんも駆けつけ学区内をパトロールしました。



東京都の 事業紹介

東京都は、子供たちや地域の安全安心のために、様々な取組を進めています。ここでは、「RUN and SAFETY」「わんわんパトロール」「防犯活動の情報投稿マップ」「みまもりいぬとつくろう 安全安心マップ」「おしえて、みまもりいぬ! (動画)」を紹介いたします。

プラス

～あなたの日常に+見守り活動を～ みんな de 防犯 始めよう!!

仲間と一緒にランニングや犬の散歩をしながら見守り活動を始めてみよう!

日常のランニングや犬の散歩の際に、子供たちやまちの様子に少し注意を払っていただければ、それだけで立派な防犯活動です!! 子供やまちを「見守る目」が増えて、あなたのまちの防犯力アップにつながります。活動(ランニングや犬の散歩)自体は一人ひとりでOK、仲間を募ってランニングや犬の散歩をしながら見守り活動を始めよう!

ご協力いただける方々にオリジナルグッズを進呈!!

ランニングをし「ながら見守り」 RUN and SAFETY



「RUNandSAFETY」のロゴ入り
LED アームバンド

ライトが
光ります

子供や高齢者を見かけた際は、挨拶や声掛けをして、周囲に気を配ろう。

※撮影時のみマスクを外しています。

犬の散歩をし「ながら見守り」 わんわんパトロール

お散歩バッグ



子供たちを見守る目を増やすため「子供たちの登下校時や下校後の時間帯」のお散歩を心掛けよう。

大東京防犯ネットワーク

検索

グッズの申請方法

- ① 仲間を募ろう!! (申請は3名以上の団体であることが条件)
- ② 東京都都民安全推進本部が運営する防犯ポータルサイト「大東京防犯ネットワーク」に防犯ボランティア団体として登録
- ③ 同サイト「RUN and SAFETY」「わんわんパトロール」ページからグッズを申請



防犯ボランティア団体登録はこちら
防犯ボランティアデータベースの運用要領を
ご確認の上、団体登録手続をお願いします。



RUN and
SAFETY



わんわん
パトロール

大東京防犯ネットワーク

東京都都民安全推進本部では、防犯に役立つ最新情報を提供するポータルサイト「大東京防犯ネットワーク」を運営しています。ここでは、防犯団体等からの情報発信を目的とした「防犯活動の情報投稿マップ」と、地域の危険箇所等の理解を目的とした「みまもりいぬとつくりょう 安全安心マップ」の2つの地図アプリケーションについて、詳しく紹介します。

スマートフォンやタブレット端末、パソコン等から気軽に利用することができます。

東京都都民安全推進本部
Office for Promotion of Citizen Safety

大東京防犯ネットワーク 防犯ボランティア応援サイト



大東京防犯ネットワーク
トップページ

防犯活動の情報投稿マップ

- 情報投稿マップでは、防犯活動（防犯パトロールや通学路の見守り活動等）に関する、お知らせや活動結果を投稿することができます。投稿された情報は、防犯ポータルサイト「大東京防犯ネットワーク」内の「情報投稿マップ」で公開されます。（投稿方法は以下をご覧ください。）
- 投稿・公開される内容は、
 - ・団体名 ・活動内容 ・参加人数
 - ・活動日時 ・マップ上に投稿を表示する地点
 - ・写真（3枚まで） などなど
- 皆さんの活動を仲間や他のボランティア団体など、たくさんの方に見て、知ってもらうことができます。

活動のお知らせや活動の結果を投稿！



※画像はイメージです。

【投稿のイメージ図】

防犯活動を
計画又は実施



活動予定や
結果を投稿



【お知らせ】
○町会パトロール隊
●月△日パトロールを
実施します。
午後7時に町会会館に
集合してください。

防犯活動の情報投稿方法

1. 団体登録方法

【大東京防犯ネットワーク団体登録】で検索又は右のQRコードから「大東京防犯ネットワーク」の防犯団体登録ページにアクセスし、運用要領に同意した上、登録事項の入力を行ってください。

※ 既に登録済みの団体は次のステップへ ※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



2. 団体登録番号

情報の投稿には、団体登録手続後に東京都からお知らせする団体登録番号が必要になります。（登録から番号のお知らせまで数日を要します。）

既に登録済みの団体で団体登録番号がご不明な方は、右記連絡先へお問い合わせ下さい。

TEL: 03-5388-2281

E-mail:

S1060102@section.metro.tokyo.jp



3. 活動内容等の投稿

【大東京防犯ネットワーク 情報投稿マップ】で検索又は右のQRコードから情報投稿アプリへアクセスし、防犯活動等に関するお知らせや活動結果を投稿してください。

※ 投稿から公開まで数日を要します。 ※ 投稿するには利用規約に同意していただく必要があります。



みまもりいぬとつくろう 安全安心マップ

- 自分の住んでいる街や普段歩いている通学路の危険箇所(犯罪や交通事故が起きやすい場所)、危険を感じたり、困った時に助けを求められる場所等がどこにあるのかを、マップ上に書き込むことで、安全で安心に暮らせる街づくりに活用することを目的としています。
- 安全安心マップは、子供でも簡単に作図できる機能を備えた作図ソフトです。小学校等で行われている地域安全マップづくり等に是非ご活用ください。
- 作成した地図をデータとして保存したり、印刷することもできます。

安全安心マップは
こちらから



地域安全マップ
づくりについて



アイコンを選んで地図に書き込むだけ。簡単に自分の安全マップができるよ!



●●●●のあんぜんマップ



家庭で防犯や交通安全を学べる動画

「おしえて、みまもりいぬ!」 ～あんぜんのために きをつけること～

小学生になると子供自身の行動範囲が広がるため、防犯や交通安全の知識が必要になります。東京都では、子供が楽しみながら、ご家庭で防犯と交通安全について学べる動画を制作しました。東京都公式動画チャンネル「東京動画」でご視聴ください。



東京動画

東京都公式動画チャンネル

URL: <https://tokyodouga.jp/>

おしえて、みまもりいぬ!

検索





令和3年度 子供見守り活動事例集 令和4年2月発行

編集・発行 東京都 都民安全推進本部 総合推進部 都民安全推進課

〒163-8001
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 第一本庁舎北塔34階
電話 03-5388-2281
ホームページ <https://www.bouhan.metro.tokyo.lg.jp/>

登録番号 (3) 45

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R260
古紙・再生紙配合率70%以上を使用
石油系顔料を含まない
インキを使用しています

大東京防犯ネットワーク

検索